



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 日本空調サービス株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 4658 URL <https://www.nikku.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田中 洋二
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理部長（氏名） 横井 智明（TEL） 052-773-2511
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,755	△7.5	1,048	△35.5	1,102	△35.4	628	△41.7
2020年3月期第2四半期	23,521	15.6	1,624	39.9	1,705	38.2	1,077	34.0

（注） 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,356百万円（16.5%） 2020年3月期第2四半期 1,164百万円（△13.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	17.83	17.51
2020年3月期第2四半期	30.71	30.12

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	31,177	19,290	60.8
2020年3月期	33,009	18,459	54.8

（参考） 自己資本 2021年3月期第2四半期 18,962百万円 2020年3月期 18,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.50	—	15.50	28.00
2021年3月期	—	12.50			
2021年3月期（予想）			—	12.50	25.00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△1.4	2,800	△9.8	2,900	△9.8	1,750	△7.9	49.67

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	35,784,000株	2020年3月期	35,784,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	422,617株	2020年3月期	551,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	35,245,387株	2020年3月期2Q	35,097,160株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会資料の入手方法）

当社は、2020年11月18日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外での新型コロナウイルス感染拡大を受け、製造業・非製造業ともに企業の景況感が大幅に悪化し、それらを背景に設備投資の先送りや規模縮小が生じました。国内外で段階的な経済活動再開の動きがみられるものの、依然として予断を許さない状況です。

このような経済環境の中、ビルメンテナンス業界においては、省エネや省コストに加え、病院での手術室の無菌化や院内感染の防止、製薬工場や再生医療研究所等でのバリデーションサポートといった高度な技術力に対し関心が高い一方で、施設の維持管理コストの見直し意識の高まりが強くなっている状況です。

当社グループにおいては、サービスを提供する現場でのお客様との接点を最重要視し、状況に応じた感染症防止対策を講じつつ、当社のノウハウを活かした「設備及び環境診断・評価」「ソリューション提案(省エネ・省コスト提案、環境改善提案)」を通じてお客様の潜在ニーズの掘り起こしに努め、新規物件の獲得や既存契約の維持に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い工場等一部施設への入場が制限され、メンテナンス及び工事業務が延期となったことなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,755百万円(前年同期比7.5%減)となりました。利益面につきましても、新型コロナウイルスの感染防止対策費用や当社グループの病院現場従事者に対して慰労金を支給したことなどにより、営業利益は1,048百万円(同35.5%減)、経常利益は1,102百万円(同35.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は628百万円(同41.7%減)となりました。

なお、当社グループは、建物設備のライフサイクルに合わせて、メンテナンスサービスとリニューアル工事とを一体化した事業活動を展開しており、当該事業以外の事業について重要性が乏しいことから、報告セグメントを単一としております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は17,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,517百万円減少しました。これは主にたな卸資産が505百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が3,211百万円減少したことなどによります。固定資産は14,101百万円となり、前連結会計年度末に比べ685百万円増加しました。これは主に投資有価証券が1,065百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は31,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,832百万円減少(5.6%減少)しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は8,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,753百万円減少しました。これは主に支払手形・工事未払金等が907百万円、短期借入金が435百万円、未払費用が360百万円それぞれ減少したことなどによります。固定負債は前連結会計年度末から大きな変動はなく、3,846百万円となりました。

この結果、負債合計は11,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,662百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は19,290百万円となり、前連結会計年度末に比べ830百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.8%から60.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界経済への影響継続が懸念され、先行き不透明な状況で推移するものと予想しております。当社グループの中核事業である建物設備メンテナンスは、外部要因の変動に需要が左右されにくい面はあるものの、その重要な補完的役割を担う建物設備工事につきましては、お客様の設備投資計画に一定程度依存しております。新型コロナウイルス感染症の影響長期化等から設備投資の縮小が懸念され、当社グループの事業活動に影響を及ぼす可能性があります。

足元の状況につきましては、国内外各拠点にて従業員の感染リスクの低減と安全確保を図りながら事業活動を実施しております。お客様の施設における設備投資見送りや新規営業活動制限等の影響は残るものの、改善の兆しもみられ、国内外ともに環境保全に関心が高まっている昨今におきましては、省エネや省コスト等に関する顕在及び潜在ニーズの高い状況が継続しております。

このような経営環境の中、当社グループは、「お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する」という経営理念に基づき、お客様との接点を最重要視し、「設備及び環境診断・評価」「ソリューション提案(省エネ・省コスト提案、環境改善提案)」に注力することで、建物設備メンテナンス及び建物設備工事の受注拡大を図ってまいります。また、2019年4月に新設した「医薬施設管理部」を中心として、製薬・再生医療業界へのアプローチ強化に向け、最適な施設環境を提供するための技術者育成に注力し、将来の中核事業とすべく基礎作りを進めてまいります。海外展開につきましても、効果的なグループネットワークの活用、技術力及び提案力の強化を継続し、積極的な新規顧客開拓による事業基盤確立を目指します。

2021年3月期の連結業績予想は、売上高49,000百万円(前連結会計年度比1.4%減)、営業利益2,800百万円(同9.8%減)、経常利益2,900百万円(同9.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,750百万円(同7.9%減)としております。

なお、今後の見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。連結業績予想につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の事態収束を正確に見通すことが困難な状況にありますが、今後は当該影響が上半期と比較して相対的に小さくなると想定し、期初予想を据え置きとしております。今後の業況変化等により、業績予想の修正が必要になった場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,020	6,287
受取手形・完成工事未収入金等	11,581	8,369
電子記録債権	710	597
たな卸資産	671	1,177
その他	610	644
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	19,593	17,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,952	2,888
土地	3,965	3,948
建設仮勘定	1	2
その他(純額)	1,544	1,499
有形固定資産合計	8,464	8,338
無形固定資産		
ソフトウェア	219	179
その他	18	18
無形固定資産合計	237	197
投資その他の資産		
投資有価証券	3,837	4,902
その他	882	667
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	4,713	5,564
固定資産合計	13,416	14,101
資産合計	33,009	31,177

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,453	3,545
電子記録債務	1,242	960
短期借入金	532	97
1年内返済予定の長期借入金	448	270
未払金	243	144
未払費用	1,987	1,626
未払法人税等	756	472
役員賞与引当金	49	-
受注損失引当金	30	19
その他	1,051	902
流動負債合計	10,793	8,039
固定負債		
長期借入金	720	625
役員退職慰労引当金	201	215
執行役員退職慰労引当金	17	22
退職給付に係る負債	2,744	2,794
資産除去債務	47	48
その他	23	139
固定負債合計	3,755	3,846
負債合計	14,549	11,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,139	1,139
資本剰余金	1,133	1,174
利益剰余金	14,170	14,250
自己株式	△68	△52
株主資本合計	16,374	16,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,938	2,664
為替換算調整勘定	△18	△34
退職給付に係る調整累計額	△193	△179
その他の包括利益累計額合計	1,727	2,451
新株予約権	253	219
非支配株主持分	104	108
純資産合計	18,459	19,290
負債純資産合計	33,009	31,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	23,521	21,755
売上原価	19,010	17,846
売上総利益	4,510	3,908
販売費及び一般管理費	2,886	2,860
営業利益	1,624	1,048
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	45	45
保険配当金	25	0
その他	19	14
営業外収益合計	93	63
営業外費用		
支払利息	7	5
その他	5	3
営業外費用合計	12	9
経常利益	1,705	1,102
特別利益		
固定資産売却益	0	1
その他	-	0
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	4	-
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	1,701	1,103
法人税等	618	469
四半期純利益	1,082	634
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,077	628

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,082	634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	726
為替換算調整勘定	△12	△18
退職給付に係る調整額	13	13
その他の包括利益合計	82	721
四半期包括利益	1,164	1,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,161	1,352
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であった株式会社日本空調東海は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。